

広報 さとうきび増収

サトウキビ単収8トンを取りを目指して！！基本技術の励行で単収向上に努めよう！！

新春の候、さとうきび生産者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。28/29年産さとうきびの集荷も12月5日より始まりました。

『平成28年産さとうきび生産見込みと集荷状況！！』

本年産の生産見込み量は約17万2千トンとなっており、1月15日の**買入甘蔗糖度は平均 13.51%**と、例年に比べ高い状況となっています。

※平成28年産の原料単価は、交付金単価は変わらないものの、会社支払い価格が前年に比べ**487円/トン**増えました。これにより**基準糖度帯の13.7%**で**22,233円/トン**となります。甘蔗糖度**11.8%**で**20,000円/トン**を越えます。

【平成28年産さとうきび生産見込み数量(12月30日現在)】

市町	年期	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	買入糖度 (1/15日現在)
西之表	28年産	653	6,733	43,967	12.84
	27年産	693	4,544	31,488	
	対比(%)	94.2	148.2	139.6	
中種子	28年産	1,272	7,560	96,162	12.81
	27年産	1,338	5,397	72,211	
	対比(%)	95.1	140.1	133.2	
南種子	28年産	479	6,800	32,599	12.78
	27年産	482	4,480	21,593	
	対比(%)	99.5	151.8	151.0	
合計	28年産	2,404	7,184	172,728	12.81
	27年産	2,513	4,986	125,292	
	対比(%)	95.7	144.1	137.9	

※27年産の収穫面積、単収・生産量・買入糖度については最終実績。



平成29年1月15日現在の最高糖度は16.9%、最低糖度は8.6%、平均糖度**12.81%**

『異物混入は、工場停止の原因になりますので、ご注意ください！』

1月15日現在の金属検出機作動回数は、**210回**(昨年同時期 144回)と増加しています。出荷の際はもう一度**確認**をお願い致します。

大事な作業道具忘れていませんか？

「鎌やクワなど出荷前に再確認！！」

『面積の維持拡大！！』

今期の収穫面積は2,404haで、ここ数年高齢化等も進み、毎年100ha程減となっています。

さとうきび増産に向けた目標面積は**2,700ha**です。面積の**維持拡大**をお願いします。

『平成28年度さとうきび増産推進(増産推進日6日洗缶日3日 合わせ9日間)』



本年度の増産推進日は **2月23日～2月28日の6日間** となっています。洗缶日(2月20日～2月22日)と合わせて**9日間**ありますので、この期間を利用して春植え・株出管理作業に取り組んで頂きますようお願いいたします。

さとうきび 品種まるわかりガイド

農林8号

高品質で黒穂病・さび病・葉焼病に強い。低温での初期生育が近年他品種に劣るが、晩成型で**優等生品種**です。根の張りが弱いので、**深溝・浅植え**で、更にマルチ被覆が必要です。

農林18号

初期生育旺盛で安定多収。**初期生育が抜群な品種**で、**無マルチでも8号並みの茎数が確保**できる。生育旺盛な反面、乱倒伏の恐れがあり、モザイク病・黒穂病に弱い。**培土はしっかり掛けるようにしましょう。**

農林22号

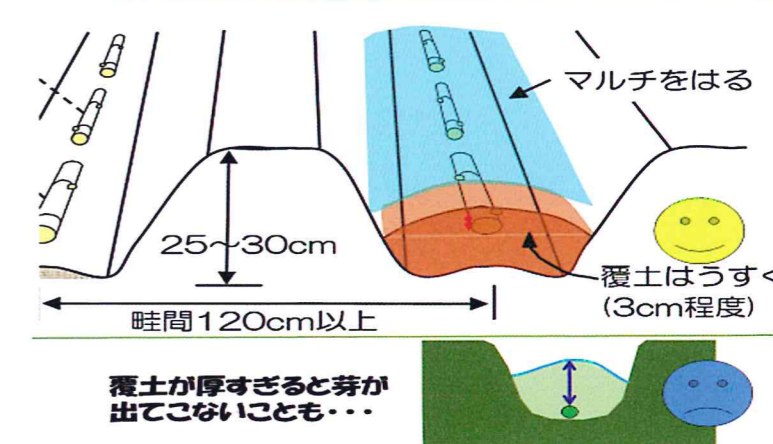
12月に収穫可能な**早期高糖品種**。集荷割り当てが早い時期でも高品質で出荷できる。根腐れに弱いので、根腐れ病対策が必要です。更にマルチ被覆が必要です。

春植えからは 深溝浅植え

植え付け位置が深いと、根の張りが良く倒伏防止やハーベスターで刈りやすくなります。

植え付けの溝は**深く**

覆土は(背中が隠れるくらい)**薄く**。



株出は 株揃えをしましょう！

良い株出しを目指しましょう！